

令和6年度 厚生労働行政推進調査事業費補助金
(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)
分担研究報告書

HPV ワクチンなどのワクチン接種後に生じる種々の症状についての調査と
その対応方法に関する研究

研究分担者 矢吹 省司

研究要旨

HPV ワクチン接種再開後に副反応と思われる症状を呈して当院へ紹介となった患者と HPV ワクチン接種再開以前から通院している患者の診療を行ってきた。再開後の新患者はごく少数であり、重篤な症状を呈する患者はいなかった。再開以前から通院している患者も症状は軽度であり、今後診察は終了になっていくと思われる。今回の結果の要因としては、子宮頸がんや HPV ワクチンに関する情報を厚労省をはじめとした機関が適切に広報することにより、被接種者に理解が得られたことがあると考えた。

A. 研究目的

HPV ワクチン接種後の症状について、①ISRR (Immunization Stress-Related Response) 中心として拠点病院を受診した患者の臨床データを収集できるシステム作り、②HPV ワクチン以外のワクチンでも同様の症状が起こっているかどうかの予備的検討、③過去に良くなった症例の調査、またそれらのデータに基づいて、現在用いられている④「HPV ワクチン接種後に生じた症状に関する診療マニュアル」のブラッシュアップを行うこと。

B. 研究方法

HPV ワクチン接種後の副反応と思われる症状を呈して当院へ紹介になった患者の診察・治療の結果をまとめて事務局に送付した。さらに HPV ワクチン接種の再開以前から通院している患者の症状の変化の follow-up を行っている。

(倫理面への配慮)

本研究については、愛知医科大学倫理委員会および研究班所属施設の倫理委員会を通して行っている。

C. 研究結果

①HPV ワクチン接種再開後の新患者は数

名であり、症状の重篤なものはいなかった。②HPV ワクチン以外のワクチンによる副反応発現者の受診はなかった。

③HPV ワクチン接種の再開以前から通院している患者も症状は軽度であり、今後診察終了になると予想される。

④「HPV ワクチン接種後に生じた症状に関する診療マニュアル」のブラッシュアップは今後行っていく。

D. 考察

HPV ワクチン接種再開後の新患者はごく少数であった要因としては、厚労省をはじめとして子宮頸がんや HPV ワクチンに関する情報をわかりやすく広報したことが考えられた。キャッチアップ接種が広く行われて患者数が増えることが予想されるが、地域医師会等との連携により対応していきたいと考えている。これらの結果を踏まえて、「HPV ワクチン接種後に生じた症状に関する診療マニュアル」のブラッシュアップに繋げていきたい。

E. 結論

HPV ワクチン接種再開後の新患者は少数であり、症状の重篤なものはいなかった。HPV ワクチン接種再開以前から通院している患者の症状は軽度であり、今後診察終了になると

予想される。

F. 健康危険情報

特になし。

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

- 1) 矢吹省司：HPV ワクチン接種後の多様な症状についてー現状と接種時の注意点を含めてー。栃木県HPV ワクチン講演会。2024年12月3日、オンライン
- 2) 矢吹省司：HPV ワクチン接種後の多様な症状についてー現状と接種時の注意点を含めてー。予防接種協力医講演会。2024年11月21日、オンライン
- 3) 矢吹省司：HPV ワクチン接種後の多様な症状について。福島医学会シンポジウム。2024年9月5日、福島県立医科大学講堂
- 4) 矢吹省司：HPV ワクチン接種後の多様な症状についてー東北ブロックのデータを含めて。HPV ワクチン講演会。2024年8月26日、オンライン
- 5) 矢吹省司：HPV ワクチン接種後に生じる多様な症状とその対応。富山HPV ワクチン講演会。2024年6月10日、オンライン
- 6) 矢吹省司：HPV ワクチン接種後に生じる症状について。福島県医師会HPV ワクチン接種推進講演会。2024年2月11日、郡山市

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし